

パイプテント(1K×2K片流れ)

区分	作業手順	作業要領	安全対策、注意事項
作業準備	設置前打ち合わせ	<p>設置場所(スペース)、テントの間口(向き)を事前に打ち合わせする。</p> <p>現場の環境(風、地盤)を調べ、養生方法を定める。</p>	<p>養生のスペースも確保すること。</p> <p>地盤を見極め、杭、ウエイトどちらか養生を決め、風が強い場合は養生を通常より増やす。(状況に応じて幕を外しておき、足も伏せておく。)</p>
部材確認		<p>①外足×4</p> <p>②2K桁×3(1本はムネとして使用)</p> <p>③1K桁×2 屋根部材×2(左右×各1) 補助流れ×2</p>	
設営作業		<p>部材を確認したら、左記の写真のように部材をならべます。</p> <p>①外足</p> <p>②2K桁</p> <p>③1K桁 屋根部材 補助流れ</p>	
		<p>部材をならべたら、桁、屋根部材を外足に差し込んでいきます。</p>	
		<p>部材を差し込んでいき、左記の写真の様な形をつくります。</p>	

設
営
作
業



部材が組み終わったら、次に天幕をかけます。両端に分かれて2人で天幕を広げます。

※天幕が汚れてしまう恐れがある場合はブルーシート敷いて作業する方が望ましいです。



天幕を掛けたら角と屋根の真中を合わせます。その際に角の部分の紐を部材に結びます。



天幕を掛け、角を結んだら足をおこします。

※足を起こす際、桁が抜けないようにする為、桁を入れたところの下の方を持ちおこします。



これで完成です。
撤去時は基本的にこの逆の手順になります。